

地方独立行政法人山梨県立病院機構 第3回理事会 議事録

1 日 時 平成22年9月27日(月)午後4時~午後5時15分

2 場 所 県立中央病院 2階 理事長室

3 出席者 理事長 小俣政男

理 事 山下晴夫、藤井康男、若月茂樹

監 事 早川正秋、加藤隆博

(欠席者 なし)

(出席者 理事長・理事 計4名。今理事会は定足数を満たし成立した。)

4 会議次第

(1) 理事長あいさつ

(2) 議 事

平成23年度予算編成要領について

事務局 各概要について説明

(別添「平成23年度予算編成要領(案)」(収入、支出、純利益、概算計画書、予算関係日程等)を読み上げ。)

(理事等から質問はなし。)

採決の結果、理事等から異議がなく、原案のとおり可決された。

(3) 報 告

年度計画の進捗状況について

中央病院・北病院の稼働額の状況について

事務局 各概要について説明

(別添「22年度計画の進捗状況」(中期目標、年度計画、進捗状況)を読み上げ。)

(別添「全科入院・外来稼働額比較等」(稼働額、医業収益、平均在院日数、新規入院患者数等)を読み上げ。)

監 事 収入が増えた要因は何か。

事務局 医療の質向上即ち“きれいに早く治す”の理念を打ち出し診療

を行った結果、新規入院患者が増え平均在院日数が短くなり、入院の一日当たり単価が4万7,000円から6万円へと上昇した。

理事長 薬品費は、診療経費が増えたので、同様に増加するものと思われたが、北病院との共同契約等を導入し、市場価格に見合った交渉を行い、契約単価が変わりつつある。

監事 北病院の精神科では、救急患者と入院単価との差はあるか。

理事 それは歴然としてある。大きな差は、最初の1カ月はとりわけ高いが、3カ月を越えるとかなり下がる。出来高についても、最初の2週間は高いが、後になればなるほど下がる。入院が何年にもなると非常に収益が悪くなる。

監事 政策的なものだからであろうか。期限を区切るのは困難か。

理事 精神科病棟では治療等が長期に及ぶこともあるが、北病院としては長期入院患者さんが、退院して住めるような施設を手配したり、訪問看護で支援しながら退院促進に力を入れている。

監事 心神喪失のため、不起訴処分となった者、無罪となった者に対する医療観察法の入院病院は稼働したか。費用面ではどうか。

理事 7月下旬に開所した。5床が年内には埋まりつつある。一月の収入は約200万円であるが、職員配置や施設整備を要した。

監事 医療観察法での入院期間はどれほどか。

理事 同法では1年半を標準期間とし、急性期、回復期、社会復帰期に分かれる。

監事 入院といった入口の問題はうまくいっているようだが、早期退院といった出口の戦略はどうか。提携先、退院後の受入先に対する工夫はしているか。

理事 平成19年度に県が退院支援施設を整備し順調に稼働している。2年間を目途として基本的な訓練を行っている。このような施設が先進諸国に比べ少ないので、これを増やすことができれば自活をより促すことができる。

理事長 経営を改善し、運営が軌道に乗った場合、職員への還元を考えるとできないか。公務員の制度に準拠するので、給与面では

困難であるだろうが、職員提案に対する奨励策はないか。小さな工夫でもよいので提案いただきたい。

理事 職員提案制度自体は従来からあるが、尻すぼみとなっている。
理事長 よい提案がされ、それが実現したあかつきには、それに報いるというステップが踏めたと思う。

公平で客観的な人事評価システムの導入についてはどうか。

理事 県では管理職を対象として人事評価を行っており、ボーナスなどに反映しているが、当機構は取り入れていない。独自に考えなくてはならない。

理事 経営改善だけでなく、医療の質を向上させるようなものでもよいだろう。

理事長 4月から創設された病院会議の席上で、各種のデータを分かりやすくグラフ等を用いて発表願っている。第二部では各部署の発表を順次行っている。この会議には80名ほぼ全員が出席しており、お互いを評価していることになる。

理事 業績評価はともかく、能力評価で本人の同意を得るのは難しい。

監事 評価する者によって大きく左右されてしまう。一人ではなく複数で評価することが最低限必要である。

理事長 キャリアに影響がある評価よりも、コストダウンなどの工夫面を評価するのがよいのではないか。将来のキャリアと待遇の両者に関わると、職場内がぎこちなくなる。

監事 時間外勤務手当はどの程度把握しているか。

理事 労働基準監督署の立入検査を受け、追徴金を払った経緯があるので、実績に基づいて支給している。

理事長 次回の理事会はいつ開催すべきか。

事務局 給与改定を見込み、11月下旬の開催を予定したい。